

アンケート調査結果(課題・市からのお願い)

《現状の課題》

《市からのお願い》



大規模災害時には食糧・物が不足します
(市が用意している食糧はアルファ米)



各自で食料・備蓄品の用意をしましょう



災害弱者(一人暮らしの高齢者等)は、避難すべきか分からない、助けがほしい



大規模災害発生時には、災害弱者を隣同士(近助力)、地域(共助)で支援をしましょう



避難所運営は市の職員だけではできません



地域住民が主体となり、避難所運営ができる準備(訓練)をしましょう

防災に関する市民アンケート調査の結果について報告します


昨年9月に健康科学大学看護学部の黒田梨絵 助教が主体となり(市は協力)、市内約9,000世帯を対象に、89項目からなる『防災に関するアンケート調査』を実施しました。市は、市民の皆さまの意見を参考にし、地震・土砂災害・雪害などのあらゆる自然災害を想定した効果的で実効性の高い対策を進めていきます。アンケート調査の結果の一部を紹介します。


※この調査(アンケート)は、『日本学術振興会』より科学研究費補助金の助成を受けて実施いたしました。

アンケート調査結果(市民からの要望)


《市民からの要望》


《市の回答(実行します)》

要望①  災害情報・避難情報を迅速に知らせてほしい

回答①  CATV 避難勧告発令しました

防災行政無線デジタル化工事に合わせて、子局の増設(難聴地域の解消)やCATVなどを活用した多様な伝達手段を構築します

要望②  避難所施設と資機材等を充実させてほしい

回答②  「災害時における避難所施設の活用に関する協定」に係る調印式

民間施設等の避難所協定を進め(避難所の充実)、避難所での生活に必要な資機材の整備に努めます

要望③  『地域や自主防災会』へ支援をしてほしい

回答③  『地区防災計画の策定』『防災リーダーの育成』『防災資機材購入への助成制度』などの支援を行います

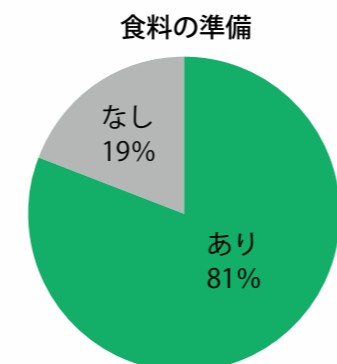
地域住民主体による「避難所運営訓練」を実施しました！



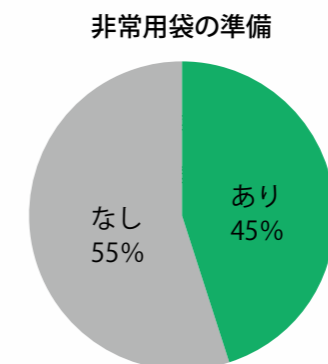
【防災に関する問合せ先】総務課 危機管理担当

6月3日(日)に都留第二中学校を避難所とする四日市場・月見ヶ丘・富士見台の自主防災会が避難所運営訓練を実施しました。
今回の訓練の目的は、地域住民主体の避難所運営「自立型」を目的に行われ、避難所の開設・受付・設営方法等を訓練しました。

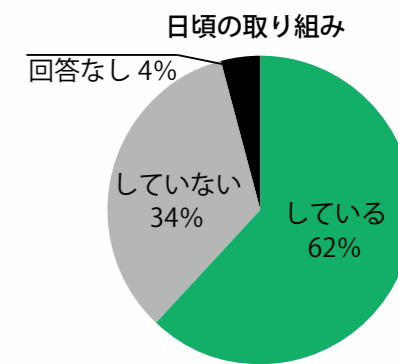
【アンケート調査結果(一部紹介)】



国が推奨する3日分以上、食糧を用意している方は829名(54.3%)でした。



自宅にはあるが、非常用袋で物品を用意している方が少ない状況です。



6割を超える方が災害に備えて日頃から取り組んでいます。